

夢遊戯

志賀直哉、島崎藤村、与謝野晶子……。
かつての文人達が愛した城崎。千四百
余年もの伝統を誇る温泉と、花鳥風月
の美しさに彩られた町の風情をそこ
かしこに散りばめた、かがり火の宿・
大西屋水翔苑。

湯けむり情緒に身を遊ばせ「心」した
ためていただければ幸いです。



城崎温泉



かがり火
の宿

大西屋

水翔苑

Onishiya Suishoen



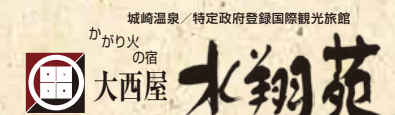
■お車ご利用の場合

- 大阪——約2時間30分(中国自動車道・舞鶴若狹自動車道・北近畿豊岡自動車道・国道9号・312号・県道)——「大西屋水翔苑」
- 神戸——約2時間30分(中国自動車道・舞鶴若狹自動車道・北近畿豊岡自動車道・国道9号・312号・県道)——「大西屋水翔苑」
- 京都——約3時間(京都縦貫道・国道9号・312号・県道)——「大西屋水翔苑」

■列車ご利用の場合

- JR大阪駅——特急約2時間30分(福知山線経由)——JR城崎温泉駅
- JR三ノ宮駅——特急約2時間30分(播但線経由)——JR城崎温泉駅
- JR京都駅——特急約2時間30分(山陰本線)——JR城崎温泉駅

※JR城崎温泉駅より 無料送迎バス 約5分——「大西屋水翔苑」
(又はタクシー)



Onishiya Suishoen

- 〒669-6102 兵庫県豊岡市城崎町桃島1256番地
- ☎(0796)32-4571(代表) ●FAX(0796)32-4575
- http://www.suisyou.com

【施設のご案内】

- 客室数/34室(和室28室、洋室6室)
- 収容人員/162名様
- 宴会場/松葉(90畳(50畳と40畳に分割可))
- 浴場/男子大浴場・白虎、女子大浴場・朱雀、サウナ・ジャグジー(男、女)、露天風呂(男湯、女湯)
- 館内施設/ナイトラウンジ・花衣、ロビーラウンジ・桃山、売店
- 駐車場/乗用車30台

■子授けの湯
「柳湯」
Yanagi-yu
(子授安全)

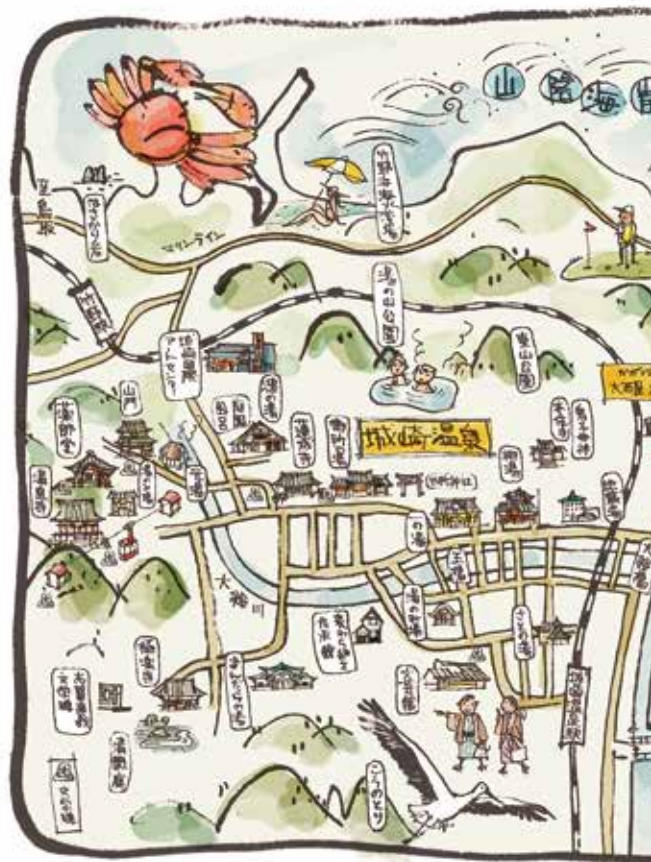
中国の名勝西湖から移植した柳の木の下から湧き出た湯。かつて外傷やはれものに著しい効果があったとか。現在は機能訓練器具と和室の休憩所が備えられています。

■衆生救いの湯
「地蔵湯」
Jizou-yu
(家内安全・水子供養)

江戸時代から里人の外湯として親しまれてきた湯で、五角形を組み合わせた洋風建築が懐古的。泉源から地蔵尊が出たことにより、こう名づけられました。

■ふれあいの湯
「さとの湯」
Satono-yu
(自然回帰)

展望露天風呂をメインとした各種サウナ・パイプロバス・ジェットバスなど新しい魅力のある外湯です。



●中庭 Courtyard

手入れされた緑と池水の調和が美しい中庭。夕刻、能舞台を模して組まれた石造りには、かがり火が浮かび、見る人を幽玄の世界へと誘います。



●ラウンジ「桃山」Lounge “Momoyama”
のんびりと中庭を眺めながら、香り高いコーヒーや紅茶を。城崎周辺の歴史、文化、観光などの情報もご用意いたしております。

かがり火に、
心の地図を照らし出し、
旅の宿に、荷をおろす。



●玄関 Entrance Hall



■一生一願の湯
「まんたら湯」
Mandara-yu
(商売繁盛・五穀豊穡)

道智上人の曼陀羅一千日祈願によって湧き出た湯。仏縁にちなんで御堂を模した屋根と唐破風の入口が、山すその縁に包まれた清楚な趣きをもっています。



すっかり忘れて、心のなかのいろいろな荷がひとつひとつ解かれていくような感じがするのは、湯の町ならではの静けさのせいでしょうか。城崎に来たら読もうと決めていた文庫本は、鞆のなかに入れたまま。紙の上の文字を追うよりも、心の情景をゆつくりと追いかける。そのほうが城崎の趣きを、深いものにしてくれそうな気がしたからです。





■城崎マリンワールド
Kinosaki Marine world

■玄武洞
Genbudo Caves

■城崎温泉ロープウェイ
Kinosaki Onsen Ropeway

■城崎マリンワールド
Kinosaki Marine world

■玄武洞
Genbudo Caves

城崎温泉の歴史をたどる7分間の空中散歩。温泉寺のある中間駅を経由して山頂駅まで延び、山頂駅展望台からは「歴史といで湯の街」城崎温泉の全景や日本海(山陰海岸国立公園)を見渡せます。

水深12mの大きな水槽が、見る人を海の世界へ誘う自然水族館「シーズー」そして、楽しいイルカショーやフィッシングセンター、プール、レストランなど多彩な施設がそろっています。

五角ないし六角の玄武岩の石柱に支えられた洞穴で、国の天然記念物。地球形成時の岩石流といわれ、柱状節理が素晴らしい造形美を生んでいます。玄武洞の他、朱雀洞、白虎洞、清流洞も。

■出石
Izushi

■大乗寺
Daijo-ji Temple

■気比・竹野浜海水浴場
Kehi Beach & Takeno Beach

但馬の小京都といわれる城下町。出石城をはじめ家老屋敷、辰鼓楼と、往時を物語る町並みが残ります。名物皿そばは、手打ちそばを出石焼きの皿に盛り、タレの中にジネンジョをすって入れて食べます。

天平17年(745年)行基菩薩による開山に始まりま。現在大乗寺には円山応挙とその門人達による障壁画165面が遺されており、いずれも重要文化財に指定されています。

抜ける様な海の青さと遠浅に広がる美しい海は、夏のリゾート感を満喫させてくれます。休憩所、脱衣所、シャワー施設も万全で快適な時がすごせます。

■気比・竹野浜海水浴場
Kehi Beach & Takeno Beach

■城崎温泉ロープウェイ
Kinosaki Onsen Ropeway



●おみやげ処 Shop

かに加工品や和菓子、丹後織など、但州城崎の特産品はもちろん、水翔苑オリジナルの山菜の味覚などを、多彩にご用意いたしております。



●ナイトラウンジ「花衣」Night lounge “Hanagoromo”

旅のひとコマを鮮かに彩る華やぎのスペースです。歌のお好きなお客様は、通信カラオケで、心ゆくまで思い出づくりを。

恋人を待つように、料理に恋い焦がれるしあわせ。人が旅に出る理由のひとつには、そんなしあわせを感じたいから、ということもあるかもしれません。その土地ならではの、あるいはその宿ならではの味覚との出逢いが、旅路を幾倍にも楽しくしてくれるのです。

ひと風呂浴びて部屋に戻ると、献立の数々が所狭しと並んでいるこの感じは、何度味わってもうれしいもの。新鮮な山海の幸に四季の移ろいを愛で、料理人の見事な技に酔いしれて…。外湯をめぐる駒下駄の音、大広間からの賑やかな声、それに廊下を急ぐ仲居さんの足音までもが旅情豊かな調べとなつて、おいしいものとの逢引きに彩りを添えてくれます。

お酒でほんのり上気した顔をさましに、そと廊下に抜け出てみると、中庭には、かがり火の薄あかり。上機嫌の夕暮れ時、宿の建物までもがほろ酔い顔に見えてきます。

●彩織会席料理例(4月～11月上旬)
Dinner “Ayaori”

恵まれた山海の幸を取り合わせ郷土色と季節感をお楽しみ頂く会席料理。



●潮彩会席料理例(11月7日～3月31日)
Dinner “Shiosai”

かにや魚貝類など海の幸を中心に冬の味覚をご賞味頂く会席料理。



●大宴会場「松葉」
Banguet Hall “Matsuba”

大勢様のお集まりに。90畳の舞台付大広間をゆったりと、ご利用いただけます。



憧れのあの味覚との逢引きは、ほろ酔い顔の定宿にて。



●2階客室「和室10畳」2F Guest rooms “10 tatamis room”

踏込・広縁つきのゆとりのあるお部屋。和の心を今に伝える寛ぎの空間をお約束。



●1階客室「和室10畳と6畳」1F Guest room “6 and 10 tatamis room”

白木の香しさに趣を凝らした付い。坪庭の眺めと濡れ縁のゆとりに暫し文人気分を…。

●離れ1階客室「和室12畳」“12 tatamis room”

歴史と文学といで湯の町の情緒をたっぷり…。離れならではの落ち着いた雰囲気でおもてなし。



夢、ぬくもる湯の「香」能。



●露天風呂「男性」 Open-air Bath for men



●大浴場「朱雀の湯」(婦人用)
Grand Spa for women



●大浴場「白虎の湯」(殿方用)
Grand Spa for men

明るく広がる坪庭を眺め、白木のかぐわしさに包まれた大浴場。男湯・女湯ともに露天風呂、ジャグジー、サウナなどがお楽しみいただけます。

その昔、足に傷を負ったコウノトリが、城崎の湯でその傷を癒した。そんな言い伝えを旅の書で知り、なにかしら幸せな心もちがして、とるものもとりたいとあえず露天風呂でひと風呂。入りたいときにすぐに湯につかることのできる内風呂の気安さが、旅心を浮きたたせます。冬ならば雪景色、夏ならば深緑…。季節ごとに日本情趣が香り立つ湯舟からの眺めが、お湯好きの心をとらえて離しません。気持ちよさに調子つき、夕食後に、そして休む前にひと風呂。まだ最初はぎこちなかった浴衣も次第に馴染んでくるのが、二度めくらいの上がり姿に感じられます。

湯けむりに、
天を仰ぐひとときは、
翼を休める「幸」の鳥。



●露天風呂「女性」
Open-air Bath for women



●サウナルーム Sauna

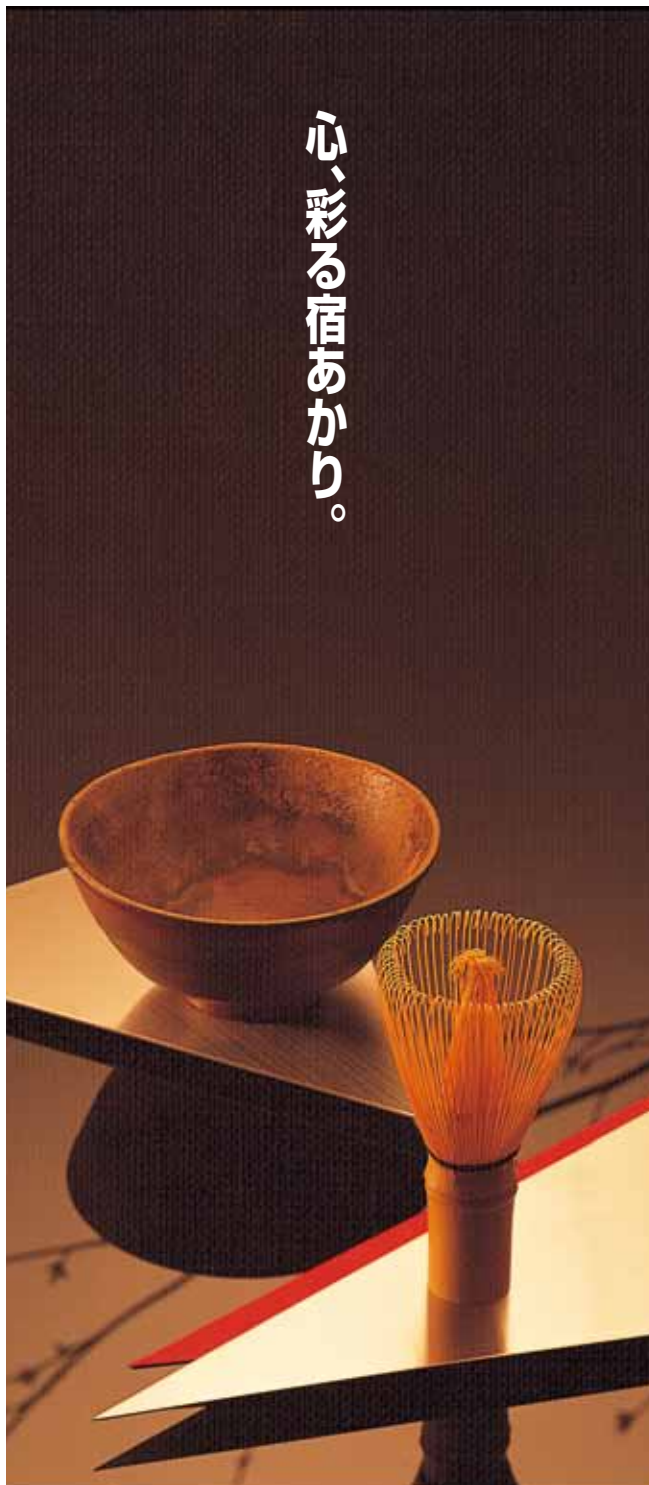


サッ一味

美味を愛で美酒に酔う。人は寛ぎの時を求めて旅に出る。四季折々妙味織りなす山海の幸が、技を磨いた料理人と出合う時、その味わいは鮮やかに花開く。旅装を解き「旬と心」を「盛り込んだ豊かな食膳」向かえば、人は安らぎと憩いにあふれるうれしい時間を手にできるだろうから。



心、彩る宿あかり。



外湯を中心に栄えてきた但馬城崎。それぞれに守護脇神をもつとされる外湯は、古くから人々に親しまれてきた由緒ある公共浴場です。あののれんから、このれんへ。浴衣がけで、湯のはじと洒落こんでみませんか。

柳並木に駒下駄の音。
城崎名物「外湯めぐり」は、
サツと入って
サツと出るのが「ツ」。



■しあわせを招く湯
「鴻の湯」
Kouno-yu
(夫婦円満・不老長寿)

コウノトリが足の傷をいやしたといわれる外湯最古の湯。山の家風を取り入れた素朴な様式の建物が印象的です。

■美人の湯
「御所の湯」
Goshono-yu
(火伏防災・良縁成就)

古風な民芸調の建物で、湯槽にはいつも清澄な湯が。後堀河天皇の御妹安嘉門院が入浴されたといわれる湯です。

■開運招福の湯
「一の湯」
Ichino-yu
(合格祈願・交通安全)

江戸中期、新湯と呼ばれていたこの湯を、当時の温泉医学者香川修徳が天下一と推賞したことから名づけられた温泉。桃山方式の歌舞伎座を思わせる建物が、重圧な雰囲気です。

城崎「旅の効能書」

文学散歩に、ゴルフや海水浴、あるいは少し足をのびして山里へ。
「来遊のその度に心とからだ解きほぐされる、それが城崎の魅力です。」

道草を重ねるほどに

より深く、

但馬の旅路の綴り方。

古くは「古今和歌集」や「徒然草」の昔から、近代に至っては「城崎にて」「暗夜行路」まで、数々の作品に記された但馬城崎。詩情あふれる土地柄が、旅人をやさしく包みます。

■城崎文芸館

Cultural Center and Museum

城崎は多くの文人・墨客が訪れ、文学の町・名作の舞台となっています。志賀直哉を中心とした白樺派の文人達にスポットをあてたコーナーや、ゆかりの文人・墨客のコーナーをはじめ、城崎温泉の歴史や麦わら細工とその実演・体験ができるコーナーなど、城崎の往時をお楽しみ戴けます。

■コウノトリの郷公園

Konotori Park

コウノトリが日本の空から消えて、30年以上が経ちました。最後の生息地であった豊岡市では、「兵庫県コウノトリの郷公園」でコウノトリをもう一度大空に羽ばたかせる事業が進み、多くのコウノトリを見ることが出来ます。

■温泉寺

Kinosaki Onsen Temple

道智上人によって創設された温泉寺。和様・唐様・天竺様が調和した本堂の内外陣が鎌倉建築の特色を伝えます。但馬最古の木造建築物で、国の重要文化財に指定されています。

■城崎文芸館

Cultural Center and Museum



■コウノトリの郷公園

Konotori Park



人、恋する旬の技。



湯香季

春夏秋冬、景色が移りゆく湯舟からの眺め、地元の岩石を組みあげた野趣あふれる露天風呂。日本の「粋」が香り立つような宿の内風呂には、外湯とはまた違った風情があるようです。
朝な夕なに文字通り、浴びるように湯と戯れる贅沢。どうぞ気の向くままにお愉しみください。

